

平成19年度 南河原こども文化センターの管理運営に対する評価について

1 指定管理者

(1) 指定管理者	財団法人かわさき市民活動センター
(2) 指定期間	平成18年4月1日～平成23年3月31日
(3) 業務の範囲	南河原こども文化センターの管理運営に関すること 南河原小学校・幸町小学校わくわくプラザの管理運営に関すること

2 管理運営（事業執行）に対する評価

評価項目	平成19年度管理運営の状況	評価及び指導
(1) 管理業務の実施状況		
施設の運営に関する職員体制に関すること	①人的能力の充実を図るため職員の児童厚生員資格取得を進めると共に、新規採用職員は業務に関する資格取得者から選考しました。 ②本部の職員体制については管理係長1名、区運営担当主査を3名配置して各館との連携強化を図りました。	職員の業務に関する資格の取得を進めたこと、また本部職員の充実によりかわさき市民活動センターが管理運営している他のこども文化センターとの連携を図ったことは評価できる。職員の研修については、スケールメリットを生かし、大規模な研修を実施し、また、指定管理施設の各区、施設単位での研修も実施することにより職員のスキルアップを図っていたことは評価できる。今後もこども文化センター及びわくわくプラザの職員配置が適切に行われるよう努めること。
施設の管理運営に対するニーズ等の把握に関すること	来館児童や保護者、団体利用者からの直接の聞き取りを日常的に実施。また意見箱を設置し利用者のニーズの把握の材料として活用した。運営協議会や部会（議長、副議長とのミーティング）にて地域の方々との意見交換を積極的に行った。南河原中学校教諭と訪問及び電話等にて地域中学生の動向に関する情報交換を頻繁に行なった。他のこども文化センターと研修、職員会議等で積極的に情報交換を行なった。	継続的に利用者や地域住民からの意見・要望等を聞きニーズの把握に努めていたことは評価できる。意見箱の活用等により積極的にニーズの把握に努めていたことは評価できる。
サービスの提供に関すること	地域への行事案内ポスターの掲示やお便りの配布。近隣中・高校へ音楽室ポスターの掲示依頼。毎朝・夕の清掃。こども文化センターが公園内にあるため公園利用者からの問合せや、直接的な対応の機会も多く、担当外と思われる案件であっても、たらい回しにならないよう対応する事等を職員会議等にて確認した。今後も運営協議会、日常の活動、意見箱等を通じて広く意見を聞きながらサービスの向上につなげるようしていく。	運営協議会やこども会議等を実施しサービスの提供を行っていた。また、ホームページの内容をより充実させていたことは評価できる。障害児については、障害児相談員を雇用し、必要に応じ職員の相談を行い障害児の対応を充実させていたことは評価できる。また、1つのクラブ活動を実施し、事業の充実に努めていた。音楽室の利用についても広報等を行い利用促進に努めていた。

事業の実施に関すること	地域・運営協議会と協働して大型行事として「おばけやしき」（参加：約408人）、「こどもまつり」（参加：約500人）、「陶芸教室」（作成参加：30人）を実施した。また、常連の小・中学生を中心こども会議を実施し、定番行事の企画・運営を行った。各行事で小・中学生を中心としたボランティア参加がみられたので、今後も参加してもらえるよう信頼関係を構築しつつ積極的に働きかけていきたい。	運営協議会等との連携により地域のニーズに合った行事を実施することは評価できる。また、引き続い音楽室を活用した行事等も積極的に検討すること。今後も、ボランティアの活用に努めること。
個人情報の取扱に関すること	個人情報を含む文書に関しては施錠可能な場所に管理し、不用分はシュレッダー処理を実施した。情報の取扱は職員が行い、情報収集時には「財団法人かわさき市民活動センター個人情報保護方針」を掲示し利用者への周知徹底を図った。スタッフ会議等にて、財団の個人情報保護方針及び関係法令遵守の周知を臨時職員を含む全職員に徹底した。	個人情報の取扱については、概ね問題なく処理されている。
施設の安全管理に関すること	施設内外の整理整頓、遊具の安全点検を日常的に実施する。近隣の中高生グループが館の玄関にて喫煙したり、公園内をオートバイを乗り回すなどの問題行動を確認した場合、または予想される場合には館長が夜間巡回パトロールを行い中高生への呼びかけ等を行った。外部（公園部分）の危険物等の撤去に関しては中部公園事務所（川崎市）に連絡をし、対応していただいた。	毎日の清掃や始業時の点検を行い、安全性に努めている。
(2) 利用状況		
①こども文化センター	延べ利用者数 40,069人 延べ団体利用数 5,166団体 (主な行事等) イラストコンテスト こどもまつり (特色のある行事) 未来科学館・フジTV見学	地域の状況に合わせた特色ある行事の実施している。また、地域との連携を図り行事を実施していることは評価できる。行事の実施に当たっては、具体的な数値目標等を設定し客観的な達成状況が分かるように心がけること。
②わくわくプラザ	1 南河原小学校わくわくプラザ 登録者数 136人 延べ利用者数 9,448人 (主な行事等) ビデオ鑑賞会 ブレスレットを作ろう (特色のある行事) タイ語による読み聞かせ 2 幸町小学校わくわくプラザ 登録者数 203人 延べ利用者数 13,217人 (主な行事等) 折紙教室 お雛作り (特色のある行事) 腹話術	行事については、順調に実施されている。利用状況は具体的な数値目標等を設定し客観的な達成状況が分かるように心がけること。

評価項目	平成19年度管理運営の状況	評価及び指導																						
(3) 収支状況		事業実施後指定管理料の残額を戻入しており指定管理料の範囲内で事業の実施を行っている。今後は収支のバランスを考慮しつつ、事業をより充実させるため適切な経費の執行を図ること。																						
① 収支状況	<table> <thead> <tr> <th></th> <th style="text-align: right;">(単位：円)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>収入 指定管理料</td> <td style="text-align: right;">45, 534, 839</td> </tr> <tr> <td>支出 人件費</td> <td style="text-align: right;">35, 336, 002</td> </tr> <tr> <td> 管理費</td> <td style="text-align: right;">2, 416, 555</td> </tr> <tr> <td> 事務経費</td> <td style="text-align: right;">1, 937, 847</td> </tr> <tr> <td> その他経費</td> <td style="text-align: right;">1, 436, 042</td> </tr> <tr> <td> 青少年事業資産取得支出</td> <td style="text-align: right;">909, 090</td> </tr> <tr> <td> 減価償却引当資産取得支出</td> <td style="text-align: right;">40, 492</td> </tr> <tr> <td> 第1回精算に伴う返納金</td> <td style="text-align: right;">636, 363</td> </tr> <tr> <td> 合計</td> <td style="text-align: right;">42, 712, 391</td> </tr> <tr> <td>差引</td> <td style="text-align: right;">2, 822, 448</td> </tr> </tbody> </table>		(単位：円)	収入 指定管理料	45, 534, 839	支出 人件費	35, 336, 002	管理費	2, 416, 555	事務経費	1, 937, 847	その他経費	1, 436, 042	青少年事業資産取得支出	909, 090	減価償却引当資産取得支出	40, 492	第1回精算に伴う返納金	636, 363	合計	42, 712, 391	差引	2, 822, 448	
	(単位：円)																							
収入 指定管理料	45, 534, 839																							
支出 人件費	35, 336, 002																							
管理費	2, 416, 555																							
事務経費	1, 937, 847																							
その他経費	1, 436, 042																							
青少年事業資産取得支出	909, 090																							
減価償却引当資産取得支出	40, 492																							
第1回精算に伴う返納金	636, 363																							
合計	42, 712, 391																							
差引	2, 822, 448																							

3 管理運営（事業執行）に対する全体的な評価

指定管理以前から委託事業者としてこども文化センター及びわくわくプラザの管理運営に携わっていた経験を生かし、また、全市58施設の内55施設の指定管理者としてのスケールメリットを生かし、施設ごとに偏りの無いサービスの提供を行っており、区ごとのこども文化センター合同行事の実施や全市規模の行事の実施を行っていた。行事の実施についても施設ごとに特色ある行事を実施していることは評価できる。また、各施設を統括する本部職員を配置することにより、他のこども文化センターと連携を図り管理運営を行っていたことは評価できる。

55施設の指定管理者としてのスケールメリットを生かし、安定した経営を行っていたことは評価できる。

4 来年度の管理運営（事業執行）に対する指導事項等

次年度も引き続き55施設の指定管理者として安定した経営、他施設と連携した行事等スケールメリットを生かした管理運営を実施すること。事業の実施に当たっては運営協議会を始め地域と連携し、より一層地域の状況に合わせた特色ある行事の実施等を行うこと、また目標利用者数を設定する等具体的な数値目標を設定し客観的に事業の達成状況が分かるようにすること。